

第66回 歴史地理学会大会・総会プログラム

1. 期 日：2023年5月20日（土）・21日（日）および22日（月・巡検）

2. 会 場：日本大学文理学部 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
交 通：京王線下高井戸駅より徒歩10分、桜上水駅（急行停車駅）より徒歩10分。
小田急線経堂駅より徒歩20分。

3. 日 程：5月20日（土）
10:00～12:00 研究発表会〔自由論題〕（日本大学文理学部3号館）
12:30～13:20 評 議 員 会 （同上）
13:30～14:20 総 会 （同上）
14:30～16:40 公開講演会 （同上）
16:40～18:00 懇 親 会 （同上）
5月21日（日）
10:00～16:00 研究発表会〔共同課題・自由論題〕（日本大学文理学部3号館）
5月22日（月）
巡検（東京都千代田区）

4. 公開講演会

演 題：小野寺 淳（茨城大学名誉教授）

「水戸藩の地図制作者たち－伊能図との関わりを中心に－」

矢ヶ崎典隆（日本大学教授）

「人と文化の移動とエスニック博物館－グローバルゼーションを記憶・記録する歴史地理学－」

会 場：日本大学文理学部3号館

参 加 費：無 料

5. 研究発表会

自由論題および共同課題「記憶・記念碑・場所」

会 場：日本大学文理学部3号館

大会参加費：1,000円（当日、大会受付で資料集と引き換えにお支払いください）

6. 懇親会

会 場：日本大学文理学部3号館

会 費：無料。但し、大学の新型コロナウイルス感染症対策の方針により、飲酒等を伴う懇親会が禁止されております。ご懇談の場としてご利用ください。

7. 昼 食

20日（土）は、学内の食堂とコンビニ（ファミリーマート）が営業しています。

21日（日）は、日大通り商店街や下高井戸駅・桜上水駅周辺の飲食店・コンビニが営業しています。

8. 巡 検

テ ー マ：城下町「東京」の近現代と地図表現

集 合 日 時：5月22日（月）12:30（昼食は済ませてからお越しください）

集 合 場 所：日本大学経済学部7号館入口（JR「水道橋」駅東口下車，白山通りを南へ徒歩2分）

コ ー ス：日本大学経済学部7号館入口（集合）→水道橋（神田上水懸樋・神田川駿河台開削）→小石川門跡→甲武鉄道飯田町駅跡→神保町古本街→九段坂→田安門→日本武道館→北桔門→天守台→大手門→東京駅→丸の内→数寄屋橋→日比谷公園→霞が関官庁街→虎ノ門→JR新橋駅（解散）

（原則全コース徒歩での巡検ですが，天候等の事情により地下鉄・バス等の公共交通の使用やコース変更する場合があります）

案 内 者：卜部勝彦・宮地忠幸・田中 圭（日本大学経済学部），牛垣雄矢（東京学芸大学）

参 加 費：資料代として500円

参 加 定 員：最大20名，最小5名

申 込 方 法：4月30日（厳守）までに，お名前，所属，住所，携帯電話番号を明記のうえ，電子メールで学会事務局（hist-geo@u-gakugei.ac.jp）へ件名を「大会巡検申込」として申し込み願います。

9. 大会開催中（5月20日～21日）の緊急連絡先

歴史地理学会事務局 TEL 050-7116-1789

〈大会実行委員会〉

矢ヶ崎典隆（委員長），井村博宣・落合康浩（以上日本大学文理学部），

卜部勝彦・宮地忠幸・田中 圭（日本大学経済学部），牛垣雄矢（東京学芸大学）

10. 託児所：託児ルーム バンビーノ

小田急線梅ヶ丘駅から徒歩1分にあります。会場の日本大学文理学部から梅ヶ丘駅までは世田谷線下高井戸駅を利用して山下駅（小田急線豪徳寺駅）乗り換えで合わせて3駅，もしくは小田急線経堂駅を利用して2駅となります。御希望の方は，人数に限りがございますので，下記アドレスを御参照の上，お早めに電話にて「一時預かり」をお申し込みください。 <https://bambino-ume.com/>

11. 研究発表会

◇5月20日 土曜日

●第1会場【自由論題】＊は登壇者

〔座長：天野宏司〕

101（10：00－10：30）笠原茂樹（日本大・院）：戦後美濃焼産地における輸出形態の変化－土岐市泉・土岐津地区の事例を中心に－

102（10：30－11：00）佐藤弘隆（愛知大）：旅する漫画家たち－大正時代の東京漫画会について－

〔座長：山下琢巳〕

103（11：00－11：30）原田 歩（広島大・院）：近世城下町における寺院立地の変遷に関する研究－金沢城下町を事例に

104（11：30－12：00）宮本真二（岡山理科大）＊・安藤和雄（京都大）・大西信弘（京都先端科学大）・南出和余（神戸女学院大）：近代以降の日本と南アジア地域の洪水災害の共通性とその変容

●第2会場【自由論題】

〔座長：双木俊介〕

201 (10:00－10:30) 嶋田 翔 (筑波大・院)：明治・大正期の東京郊外における市街地化への軍用地の影響 ―旧陸軍戸山学校射撃場周辺を事例に―

202 (10:30－11:00) 阿部美香 (京都府立大・学振RPD)：明治後期の名所案内記にみる江戸・東京観―『新撰東京名所図会』と『江戸名所図会』の比較検討から―

〔座長：三木一彦〕

203 (11:00－11:30) 村上晴澄 (京大・院)：『松平家忠日記』にみる戦国時代の東海道

204 (11:30－12:00) 青山宏夫 (国立歴史民俗博物館・名誉)：上総国の交通と中世新堀郷―カリヤド地名とその周辺―

◇5月21日 日曜日

●第1会場 *は登壇者

【共同課題】記憶・記念碑・場所

〔座長：上杉和央〕

105 (10:00－10:30) 市道寛也 (大阪市立大・院)：桜植樹と並木の保存活動を通じた場所の記憶の共有―第二次世界大戦で被災した大阪市港区を事例に―

106 (10:30－11:00) 菅原 至 (明治大・院)：境界変動にともなう場所の記憶の接合と断絶―小笠原群島の事例から―

〔座長：大平晃久〕

107 (11:00－11:30) 山下琢巳 (城西大)：「牛浜出水の図」案内板にみる江戸時代の内水氾濫―東京都福生市牛浜地区を事例に―

108 (11:30－12:00) 椿 真智子 (東京学芸大)：身近な環境に対する個および地域の歴史・記憶と現代的意味―東京都国分寺崖線を事例に―

【自由論題】

〔座長：米家志乃布〕

109 (13:00－13:30) 神 英雄 (島根地理学会)：堀田仁助と伊能忠敬一蝦夷地の地図を比較する

110 (13:30－14:00) 塚本章宏 (徳島大)*・平井松午 (徳島大・名誉教授)：伊能図の縮図法に関する一考察 ―広域下図に隠された「針穴縮図」―

〔座長：山本 充〕

111 (14:00－14:30) 川口 洋 (帝塚山大)*・加藤常員 (大阪電気通信大学)・関野 樹 (国際日本文化研究センター)：種痘普及過程分析のための歴史GISの開発

112 (14:30－15:00) 柴田陽一 (愛知県立大)：日本新八景選定と天龍峡

113 (15:00－15:30) ト部勝彦 (日本大)*・笠原茂樹 (日本大・院)・遠藤有悟 (日本大・院)・黛 京子 (日本大・院)：赤水図を用いた中学校社会科地理的分野の授業実践

<キャンパスと会場>

